

科目番号	51014	分類		履修者	高度実践看護コース	学年	1	
科目名	NPによるチーム医療特論 (Multidisciplinary Team Care and the Skill mix)					1	配当セスター	
							前期	
担当者	○忠 雅之 他5名	区分	必修	単位	1	時間数	カリキュラム 15 特定行為研修(実時間) 研修対応時間 12.5	
授業の概要および目標				学位授与の方針と関連				
【概要】 チーム医療におけるスキルミックス、タスクシフティング、タスクシェアリングについて理解を深め、チーム医療のキーパーソンとしてチーム医療のガイドライン等を活かし、社会から求められているチーム医療のあり方を探求する。またチーム医療を構成する医療職の役割分担、協働のあり方を再考し、今後の新しいチーム医療のあり方を学び、高度実践看護師としての自己の考えを明確にする。				1				クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力
				2				クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力
				○ 3				患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力
				○ 4				専門職としての倫理的意思決定能力
				○ 5				高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力
				6				臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力
				○ 7				クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力
【目標】 1. チーム医療における各職種の役割を理解する。 2. チーム医療の今後のあり方について自己の考えがもてる。 3. 高度実践看護師としてのチーム医療における役割(キーパーソン)について考えを深めることができる。								
授業計画								
回	内容					担当教員		
第1回	<チーム医療の理論と演習/チーム医療の事例検討/コンサルテーションの方法> 科目ガイダンス 1. チーム医療における役割発揮のための多職種協働実践 (Inter Professional Work(IPW) (多職種との事例検討等の演習を含む))					忠 他5名		
第2回	<多職種協働の課題/チーム医療の理論と演習/チーム医療の事例検討/コンサルテーションの方法> 2. 医師の役割とチーム医療							
第3回	3. 専門看護師の役割とチーム医療							
第4回	4. 周術期医療の場面におけるチーム医療							
第5回	5. 在宅医療の場面におけるチーム医療							
第6回	6. 急性期救急医療の場面におけるチーム医療							
第7回	<チーム医療の目指す方向性とチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たす> 7. 高度実践看護師が参加するチーム医療のガイドライン作り							
第8回	8. チーム医療としての特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の倫理と演習、まとめ							
事前・事後学習	事前学習：各回の関連のある分野や事柄について調べてから臨むこと。 事後学習：授業内容を復習し、チーム医療に関する自らの考えを明確にする。 また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。							
評価の方法	授業への参加及び学習状況(20%)、筆記試験、レポート課題及び観察評価(80%)から総合的に評価する。また、フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							